

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		主要地方道大津植木線バイパス建設促進期成会運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名 上原哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名 辻 健一
	基本事業	13	計画的な道路の整備		所属班	管理計画班	(内線) 2272
					法令根拠		

予算科目	会計	1	款	8	項	1	目	1	事業連番	10067	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12	
														コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
主要地方道大津植木線と国道387号が交差する辻久保周辺(栄～野々島)の渋滞解消と産業流通の促進に向けて新たにバイパスを建設し、安全、安心、迅速性を確保する。(事務局:合志市)
【業務の流れ】 合併を期に、この県道沿線の地元区長及び終点側の植木町にも期成会に加入いただいた行政・議会・住民と一体になって事業主体である県へ要望を実施している。19年11月にバイパスのルートが決定され、12月には本事業に関する地元説明会が実施されており、20年1月から事業開始している。今後は事業の早期完成に向けた要望活動と地元既存道の歩行者対策を進める。

【主な予算費目】 負担金補助及び交付金として 負担している

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・総会の開催 ・県への要望	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 総会への出席 回
		イ 要望活動 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 県道大津植木線	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 県道大津植木線バイパス 線
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) バイパス建設の早期完成	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 県への要望回数 回
		イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 土地利用に合った道路網が整備される	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 整備済延長/計画延長×100 %
		イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	200	200	100	100	100	100	100	
	(A) 事業費計	千円	200	200	100	100	100	100	100	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	174	174	174	174	174	174		
	(B)人件費計	千円	691	693	693	693	693	693		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	891	893	793	793	793	793		

活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1	1	1	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
	イ 回	1	1	1	1	1	1	1		
対象指標	ア 線	1	1	1	1	1	1	1		
	イ 線									
成果指標	ア 回		1	1	1	1	1	1		
	イ 回									
上位成果指標	ア %	15	23	45	28.9	70	100			
	イ %									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成11年度に旧合志町・西合志町議員の会合の席で、辻久保地区渋滞解消のためのバイパス建設を期成会を作って県へ要望していこう、という申し入れから、旧2町で期成会が設立された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
19年度で県事業としてのバイパス建設が決定され地元説明会、測量が開始された。事業期間は概ね10年間とされているが地域の実情と合併支援道路としての機能向上をはかるため早期の完成が待たれる。また、本事業の実施に伴い現道の歩行者対策を本市に一任されているため本年度で調査を行い最善策を見出すことが必要である。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
現道の渋滞解消はバイパスが完成しないと解決しない。また、歩道が設置されていない部分があり早急に対処してもらいたいという要望が寄せられている。

事務事業名	主要地方道大津植木線バイパス建設促進期成会運営事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ このバイパスが完成することにより、交通渋滞の緩和、安全性の確保を図ることが出来る。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 実施主体である県への働きかけを、行政・議会・地元住民代表が加入した期成会を通じて行うことが、市単独で行うよりも有効性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ バイパス事業の早期完成を図るうえで今後も事業継続が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ バイパス建設が本格的に事業(建設工事)着手され、早期完成を見るまでは期成会活動は必要である。また、バイパス建設後は、植木ICへの結節など新たな期成会としての要望拡大が考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似団体がない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 19年度でバイパス建設の事業が採択され、期成会としての目的が一步進んだ形となった。今後は県の事業を見守りながら事業予算の確保等の要望を続ける必要がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県及び議会・区長・植木町・県議等との折衝を行うのに、正職員以外では出来ない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域間交流を促進する幹線道路の建設要望であり、受益者である道路利用者すべてに恩恵があり公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
-----------------------------------	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)